事例No.	1242
公表年度	R2
団体の属性	町村
団体名	静岡県川根本町

事例区分	地域活性化

タグ	・移住定住 ・地域運営組織

事例種類	移住促進

事例内容・タイトル

地元プレーヤーや移住コーディネーターを活用した取り組み

出典

「地方への人の流れの創出」に向けた効果的移住定住推進施策事例集

(21)静岡県三島市

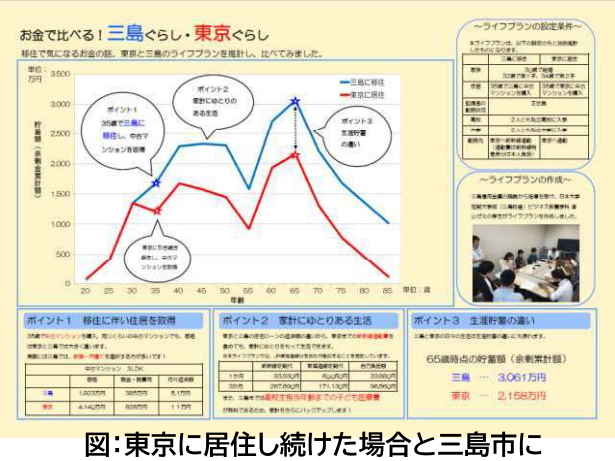
地域	立地特性	人口規模	時間距離
中部	市街地・内陸	中・10.9	1時間

三島市の取り組みの特長・ポイント

◆ ほぼ確実に座れる新幹線通勤で都内まで1時間以内であり、**首都圏在住者が仕事を変えずに移住できる、という圧倒的な強み**を生かしてPRしている。

新幹線通勤生活と東京在住生活の費用比較をシミュレート

- 東海道新幹線の三島駅があり、新幹線の車両基地があるため、終電が三島止まりである。また、**朝の6時から7時の通勤時間帯に三島始発のこだまが6本出ており、1時間以内で都内まで出られ、さらに、ほぼ確実に座れるという好条件**である。
- 一方新幹線通勤はお金がかかるが三島市では新幹線通勤への補助金はない。ただし、生涯スパンで収支をシミュレートして、**生涯東京で暮らした場合と三島に移住して新幹線通勤で暮らした場合の貯蓄額を比べると三島市に移住するほうが差し引きプラスであり**、そのことを示したパンフレットを作成している。



図：東京に居住し続けた場合と三島市に移住した場合の貯蓄比較

出所：三島市提供

(22)静岡県川根本町

地域	立地特性	人口規模	時間距離
中部	内陸	小・0.7	3時間

川根本町の取り組みの特長・ポイント

◆ **地元プレーヤーとの勉強会を活用して協力関係を構築**、移住定住促進の取り組みを効果的に進めている。

様々な地元プレーヤーが参加する勉強会

- **地元の有志の発意による町・NPO・地元企業・観光協会・商工会・県・金融機関等が参加する勉強会で、地域活性化の1つのテーマとして移住定住促進を取り扱うことで、地元の様々なプレーヤーが自発的に協力・連携する環境を整備。**移住定住促進に関する意見だけでなく、具体的なアイデアの根源、実際に取り組む場面での協力体制の基盤にもなっている。

移住コーディネーター

- **10年程前に川根本町へ移住しエコツーリズム団体を運営している人が、月16日間、移住コーディネーターとして活動している（残りは本業）。**移住に関する問い合わせ、お試し住宅を利用した移住体験等、移住希望者に対する一義的な窓口となっている。移住経験者であり、かつ、移住後10年間に構築してきた個人的な町の人とのつながりも活用して、対応にあたっている。
- **町内にある500戸程の空き家すべてに対して空き家バンク登録の意向調査を行った。所有者が県外の人も多いが、移住コーディネーターと連絡して空き家バンク登録に動き出している。**